



沖縄県  
議会議員

# サキ山嗣幸 NEWS

いのち、くらし最優先

2021/4 No137

県予算 7,912 億可決  
新型コロナ対策へ増額  
対象地域めぐり深夜議会、閉会午前 3 時

2 月定例  
県議会  
代表質問



6 項目を一般質問する崎山議員

2 月定例議会は 2/16~3/30 までの期間、代表、一般質問、予算審議を終え 3 月 30 日に閉会した。特に最終本会議はコロナ対策の営業時間短縮の対象地域をめぐり紛糾し、午前 3 時頃まで深夜議会となった。県的那覇市を含む中南部 20 市町村の遊興施設を対象とする提案に対し、自民側は、全市町村を対象にすべきと違いを示してきた。県は、時短要請は私権制限となり、可能な限り、限定すべきであり、感染の拡大の兆候があれば検討するとした。ちなみに 20 市町村の対象は 9041 店舗、41 市町村は 11,358 店舗である。

## 戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使うな！

4/15  
補正予算  
臨時議会

意見書全会一致

県当局 → 採掘業者へ措置命令 開発禁止は見送り

去る 4 月 15 日の補正予算の本会議は、コロナ感染症対策・2 次補正約 1370 億円、3 次補正 129 億円を全会一致で可決した。

また、戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しない意見書は全会一致で可決した。その後、県当局は 4 月 16 日知事記者会見で、県が最大限とり得る行政行為で異例の判断として、採掘業者に措置命令を出したと発表した。

しかし、開発禁止が見送られ、与党も再考を求める動きをしたが結果的に措置命令にとどまった。



具志堅さんと意見交換する崎山議員

## 県、東京五輪聖火リレー公道中止

県は、県内の東京五輪聖火リレーの公道を中止し、名護、糸満での公園内を無観客で実施、ネット中継すると発表した。

関係者やアスリート達の無念さもあるが、聖火リレーや東京五輪がコロナ感染症爆発の発生源となったら取り返しのつかないことになる。1964年当時、東京五輪の聖火ランナーとして共に走り抜いた山川義昭さんと、東京五輪・聖火リレーの意義を意見交換した。



山川義昭さんと崎山議員（豊見城陸上競技場）

近況報告

## 受動喫煙防止 分煙環境整備を！

沖縄たばこ耕作組合から提出された陳情に関し、日本たばこ平野支店長代理、新垣、仲里、組合役員から説明を受けた。たばこ税増税、改正健康増進法の施行により、喫煙規制強化となり、タバコ消費量の減少も伴い、耕作農家や卸売組合への影響が大きく、厳しい状況とのことである。一方、タバコは嗜好品であり、県税 17.7 億、市町村税 108.2 億となり、一般財源へと大きく貢献しており、その財源を分煙環境の整備に充てる配慮を求めている。



対応する（仲村、次呂久、崎山議員）

## 県、路線バス、タクシー等支援 4 億円の補正可決

県議会は、去る 4 月 15 日 臨時議会を開催し、路線バ、タクシー、離島航路に支援金、約 4 億の支出を可決した。路線バス全 22 社、法人個人タクシー 300 社、離島航路へコロナ対策としての支給となった。小川県バス協会長が、これまでの意見交換や事業支援の挨拶にこられた。



対応する（仲村、次呂久、崎山議員）

## 第 6 代海邦丸完成披露式

最新の設備、機能を装備した第 6 代海邦丸総トン数 699t の完成披露式があり、崎山議員も案内を受けた。

第 6 代海邦丸は、県の水産海洋関連産業を支える人材育成の実習船である。当日は、教育庁や福地校長、先生方が見守る中、専攻科、本科生の生徒達は整列し希望に満ちた表情であった。後輩たちへ沖縄の水産海洋産業への担い手として大きく成長して行くことを期待した。



（大嶺先生、崎山議員、大屋先生と）



□□□ - □□□□

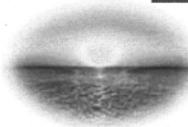
郵便区内特別



沖縄県議会  
立憲おきなわ会派

サキ山嗣幸版  
2022/1 No.140

## 2022年 いよいよ復帰50年



コロナ収束・辺野古断念・経済回復

2021年・崎山議員は、①「軽石」防除対策（12月議会）②辺野古サンゴ移植約4万群体は無謀！・コロナ対策（9月議会）③中高校生の通学バス料金無料化の拡充（6月議会）④米軍機の低空飛行・駐留経費の肩代わりは問題⑤県営住宅の需要にこたえよ（2月議会）等重点的に取り上げた。新年の復帰50年にあらたに決意！



知事に一問一答の崎山議員（本会議）

## 県民の声を県政へ（2021年）



### 沖縄歴史文化の日

記念式典

沖縄の先人たちは組踊や琉球料理、空手等多岐にわたる独自の伝統文化を創りあげてきた。県は新たな歴史と文化の創造めざし条例を制定した。



玉城知事・上里（歴史家）と崎山県議ら

### 首里城再建は県が主体



首里城関連寄附金 52 億の使途、大龍柱の向き、龍頭装飾の制作等、県が主体性を発揮しオープンな議論を求める陳情が出されている。崎山議員は本会議や委員会で再建の進捗、県民意見の反映を求めた。

### 龍潭街路事業の進捗率 90%

山川交差点から鳥堀交差点（1.2 キロ）までの歩道拡幅と電線地中化工事は 90%進捗し、2022 年 3 月完了する予定である。崎山議員に土木環境常任委員会で答弁した。

### 松川の河川、洪水対策を求める



那覇市松川えなみ橋付近の河川は豪雨のたびに、糸数、粟国宅の基礎に水流が直撃し危険な状態にある。河川課が改修の検討を答弁。

崎山議員、糸数・粟国さんと県職員



### 中・高校生の通学バス料金無料化

高校生のモノレール、バスの無料化事業は、非課税世帯ひとり親世帯が対象で約 3,800 人約 8%6 億余実施している。崎山議員は、知事公約であり、対象の拡大を本会議で求めた。

### 養蜂産業の実態は！



県の養蜂産業と今帰仁村の養蜂栽培の実状など法的な問題、技術的な課題を県職員から説明を受けた。

崎山議員、岸本忠三郎（元県議）と県職員



# 復帰50年、歴史の転換期！

代表質問鋭く！ — 2月定例議会

質問（崎山嗣幸）：知事公約の成果と予算の反映を聞く

答 弁 玉城デニー知事

私は、新時代沖縄、誇りある豊かさ、沖縄らしいやさしい社会の実現に向け、公約として掲げた 291 の政策全てに着手し取組を進めているところです。具体例としては、幼児教育の無償化やこども医療費助成の拡充、低所得世帯の中高校生のバスの無料化、国際家事福祉相談所の設置などに取組んで参りました。令和4年度は、これら取組を引き続き進めるとともに、沖縄県こどもの貧困対策推進基金の積み増しによる子供の貧困対策の推進、沖縄県観光振興基金設置による国際競争力の高い魅力ある観光地形成に向けた諸施策の展開、デジタルトランスフォーメーションの推進による産業の稼ぐ力の強化等にも取り組むこととしております。引き続き、私が掲げた公約の実現に向け、全力で取り組んで参ります。



代表質問する崎山議員

(沖縄タイムス2月26日紹介)

質問（崎山嗣幸）：建議書の意義と内容を聞く

答 弁 玉城デニー知事

復帰50年を迎える現在でも、基地負担については、復帰当時に沖縄県民が期待した本土並みには依然としてほど遠い状況にあると言わざるを得ません。沖縄県においては、復帰50年の節目となる本年、当時の琉球政府が将来を担うたちのために描いた新生沖縄像と現状との比較検証を行い、若い世代を含む県民の皆様や有識者からの意見も取り入れながら、建議や宣言の在り方について検討してまいります。

与論町ドクターヘリ運航要請（健康保健部）



山元与論町長、高田議長、武東さん、郷友会の皆さんと急患輸送の併用を大城部長へ要請した。

## 屋良建議書の先達に学ぶ

知事、復帰50年版の参考に

屋良建議書（復帰措置に関する建議書）の先達に聞く。復帰後、県参事監などを務めた平良氏。建議書を仕上げた屋良朝苗行政主席から現在まで歴代の知事は誰も建議書を取り下げていないとし、玉城知事に「地方自治権の確立などを日本政府に求めた」建議書の理念や願いは生き続けていること強調したと言う。意見交換会には、大田昌秀県政で副知事だった吉元政矩氏やおきなわ女性財団理事長の大城貴代子氏ら14名の有識者が2回に分けて参加。建議書や今後の沖縄の姿について非公開で議論する予定。

河川敷草木伐採（河川課）



河川課担当が伐採し美しい景観となった。（国場・玉城さん宅前）

## 多岐にわたる質問を展開！

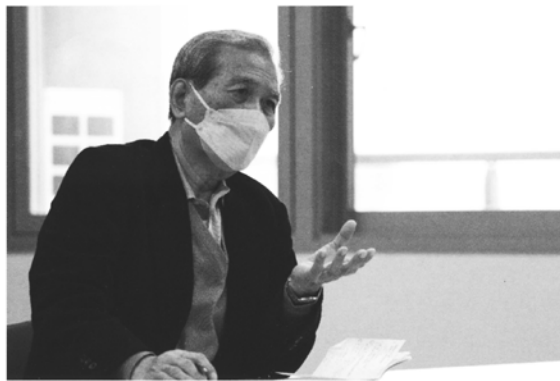
### 那覇軍港について

○（崎山 嗣幸君） 知事にお伺いしますが、常態化を許さないという姿勢については、毅然としていいと私思います。ただこの那覇軍港の問題は、ここが航空機やあるいは訓練の場所として、これは簡単に使われているということについては看過できないということは、知事も同感だと思えます。この常態化を許すと、那覇軍港の浦添移設については、移設後もそういった理由でオスプレイが飛んだり、あるいはそういった訓練が挙行されたりするということになる。

○知事（玉城デニー君） 議員御案内のとおり、この那覇港湾施設、いわゆる那覇軍港での新たな訓練が行われたことについては、これまで行われてなかったことをあえてこの那覇の、人口が集中している地域に近い場所で行ったということについても、非常に大きな衝撃を受けておりますし、またこれから移設の作業が進んでいる、協議が進んでいる移設協議会の中でも、恐らくその基地の機能強化につながるような状態を危惧するというそういう、意見も那覇市、浦添市にもあるのではないかと考えております。ですから、そういう移設協議会の中で一知事公室長が協議会には参加をするのですが、県のこの意見として、やはりその協議会には申し入れをしなければならないであろうというように考えております。

### 県営住宅入居時の連帯保証人の廃止について

○（土木部長）住宅に困窮する低所得者への住宅の提供という公営住宅の目的を踏まえ、入居時の手続きにおける連帯保証人に関する規定を廃止する。今後とも、誰もが安心して心地よく暮らせる沖縄を目指して、安全安心な住まいづくりに向け、積極的に取り組んで参ります。



行動し、発言する崎山議員

### 職員給与の遡及カットについて

○（総務部長）職員の期末手当、いわゆるボーナスの引き下げについては、国及び本県を除く全ての都道府県で実施することとされているとともに、県内民間事業者の支給実績に基づくものであり、本県も実施する必要があると考えております。職員団体からは、引き下げに反対する意見に加え、新型コロナウイルス感染症への対応で、厳しい業務を強いられている職員の勤務改善にかかる要望などがございました。

### 雇用問題について

○（商工労働部長）令和3年12月の完全失業率は3.4%、有効求人倍率は0.82倍、非正規雇用の割合は、38.9%となっています。令和2年5月以降、有効求人倍率が1倍を下回るなど、厳しい雇用情勢が続いていることから、県では、雇用調整助成金の活用促進や県独自の上乗せ助成を行うとともに、就職困難者等への再就職支援や新規学卒者に対する相談体制の強化、地域の特性等に応じたマッチングなど、雇用の維持と求職者の早期就職支援に取り組んでおり、引き続き関係機関と連携しながら、雇用情勢の改善に努めてまいります。

### 男女の給与格差の解消について

○（商工労働部長）厚生労働省の令和2年賃金構造基本統計調査によると、本件一般労働者の所定内給与額は、10人以上規模の事業所において、月額、男性27万7900円、女性21万8700円で、女性は男性の78.7%となっております。少子高齢化や生産年齢人口の減少下において、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくためには、多様な労働力の確保や生産性の向上が重要であり、女性の労働参加を促進することが不可欠であります。処遇改善などの施策に引き続き取り組んでまいります。

### 軽石問題について

○（農林水産部長）軽石の漂着は38市町村の海岸、38港湾、61漁港で確認されております。令和4年2月15日時点で、国、県による回収が、港湾で1万7202立方メートル、県による回収が、漁港2530立方メートル、海岸で3932立方メートル、市町村等による回収が1万1990立方メートルで、計約3万6000立方メートルを回収しております。軽石による被害としましては、これまで7港湾（発：漁港）で船舶の運航に支障が生じたほか、漁業者の出漁自粛マリンレジャーのキャンセル等多岐にわたっております。



那覇市沿岸漁業組合長と崎山議員

### その他首里城基金等

○（知事公室長等）新型コロナ対策/観光基金/ハイトスピーチ規制条例/公契約条例/子どもの貧困問題/教育現場の改善/ウォーキングコースの整備/南西諸島の軍事化/辺野古/PFOS問題等発言した。